

# 株式会社マミーズファミリー

お母さんを日本一元気にして、子どもたちを日本一可愛がる

## おもてなし経営のポイント

- ❖ 安心して子どもを預けられる、きめ細やかな「パーソナル保育」
- ❖ 若い保育士を補助する IT システム



## 経営理念と企業文化

株式会社マミーズファミリーは、保育施設の運営や、ベビーシッターの養成・派遣などを行っている。代表取締役の増田かおり氏はかつて子育てをしていた際、「自分が病気になる、病院に行きたかったが子どもを預ける先がなく、途方に暮れた」という経験があった。まだ一時保育を受け入れる保育所もないころだ。預かり保育をしている街の託児所をたずねたが、施設の状況が分からない中では、不安で利用できなかった。友人が子どもを預かってくれたことでようやく病院へ行き、買い物もすることができた。「自分のように困っているお母さんは世の中にたくさんいるはず」と思い、託児サークルを設立。それがマミーズファミリーの始まりだった。

マミーズファミリーの保育は「基本的信頼感」、「自己肯定感」の確立を大切にしている。また、幼児期後半に向けては「自立」と「自律」がテーマだ。

乳幼児期で大切なのは「ほくって生まれてきてよかったんだ」、「私って大事にされているんだ」と実感すること。そのため、保護者が迎えに来たときは「○○ちゃん、お母さんが迎えに来たよー」と大声で叫ぶようなことはしない。きちんと子どものそばに行って話しかける。このことによって、「自分は大事にされている」という実感を持てるようにしている。

「みんなが同じタイミングで同じことをする」という集団保育が多い中、マミーズファミリーの保育施設では、それぞれの子どもに合わせた保育をしている。登園時間が異なれば、子どもが腹をすかせる時間も、昼寝の時間も異なるため、それぞれに合わせて保育をしている。

このきめ細やかな保育をサポートしているのが、IT システムである。法律上の最低人数に加え、個別フォローが必要な子どもに対応する人数を別途、上乘せした形で、何時に何人の保育

士が必要なのかを算出する「人財適正配置システム」を採用。現場の保育士による施設管理をサポートしている。

「保育所の子はかわいそうといわれますが、私は決してそうは思いません」と増田氏。両親と離れていても、保育士が一人ひとりの子どもを大切にすることで、子どもは精神的に豊かな人間形成をしていくことができるのである。

## 講演者紹介



株式会社  
マミーズファミリー  
代表取締役

増田 かおり氏

松山市東雲短期大学保育科卒業後、3年間保育所に勤務。その後、自らの育児ノイロゼ体験をもとに、託児サークル「マミーズファミリー」を設立。ドイツ・スウェーデンの保育研修にて感覚教育や発達心理学を学び、保育士の養成や講演を行う。「日本一ハッピーな保育を目指そう!」、保育者・子ども・母親・父親の目線で幸せを実感できる保育施設を全国で28ヶ所運営。総顧客数は、2万人を超える。次世代育成支援法協合理事長。ハイサーピス300選クラブ副会長。2006年、第6回 日本商工会議所女性起業家大賞奨励賞受賞。著書『がんばりすぎない子育て』（PHP研究所）、『日本一ハッピーな保育所を目指して』（ラグーナ出版）。現在、法政大学大学院 政策創造研究科 在学中。

## 会社概要

- ・法人名：株式会社マミーズファミリー
- ・代表者：増田 かおり 代表取締役
- ・所在地：愛媛県松山市萱町2-4-5
- ・設立年月：1995年5月設立
- ・ホームページ：http://www.mammys-f.jp/

- ・事業内容：  
保育施設の運営・受託運営、ベビーシッターの養成・派遣、  
保育士などの人材派遣、一般労働者派遣、  
次世代育成支援コンサルティング業務
- ・社員数：200名